

モロッコ経済日誌 2015年9月

在モロッコ日本大使館経済班

I. 国内経済

1. 指標等

①中央銀行の諮問会議¹

22日、中央銀行は四半期に一度の諮問会議を開催し、政策金利を2.5%に据え置くことを決定した。通貨供給量や物価上昇率の動向を分析した結果、現在の金利が妥当と判断した。経済成長率について、2015年は全体では4.6%に達するが非農業分野は3.3%にとどまるとし、2016年については、農業の収穫高が平年並と仮定した場合、2.4%(非農業分野は3.3%)に減速すると予測。2015年の物価上昇率は1.8%とした。また、原油価格が1バレル当り57.5ドル、湾岸諸国からモロッコへの資金援助が60億DHとの想定で、2015年の経常赤字はGDP比2.8%に減少し、外貨準備高は輸入額の6ヶ月半分まで増加すると予測。財政については、今年8月までの歳出は前年同期比5%減、歳入は0.8%増となり、予算法で設定した2015年度単年度赤字をGDP比4.3%に抑えるという目標は達成可能とした。

②モロッコ経済の競争力²

世界経済フォーラム(WEF)による2015年の競争力ランキングによると、モロッコは140か国中72位(2014年は72位、2013年は77位)。インフラ設備、マクロ経済環境が評価され、高等教育、労働訓練、労働市場の非効率性が問題点とされた。アフリカではモーリシャス(46位)、南ア(49位)、ルワンダ(58位)、ボツワナ(71位)に次ぐ5位。北アフリカでは1位となった。アルジェリア(87位)、チュニジア(92位)、エジプト(116位)。

③IMFの財政モニター³

IMFは各国の税制を調査する報告書「財政モニター」において、モロッコを「中所得の新興市場」とし、モロッコの税制を「他のアフリカ諸国と比較し、税金回収が可能な効率の高い制度」と評価した。また、モロッコの税収はGDP比22%で、アフリカ諸国で11位。

④海外直接投資⁴

モロッコ為替局の報告によると、8月末までのモロッコへの海外直接投資額は前年同期より21.1%増加し、191億DHとなった。額にして45億DHの増加で、同時期のモロッコによる海外投資の

¹ ル・マタン紙, エコノミスト紙 Les ECO 紙(9月23日)

² エコノミスト紙, L'usine Nouvelle 紙(9月9日, 10月1日)

³ Les ECO 紙(9月4日)

⁴ ル・マタンエコ紙(9月17日)

増加額である12億DHよりも大きい。なお、2014年の海外直接投資件数は、前年より52.3%増の67件であった。

2. 建設・公共事業・インフラ・通信等

①ナドール西港の建設入札⁵

本件を推進する Nador West Med SA は、ナドール(地中海に面する都市)におけるナドール西港建設案件(石油精製品の貯蔵庫及び石炭ヤードの建設、総工費約1200億円、1.500ha)のインフラ建設に関する入札参加者リストを公表した。2015年5月29日に開始された事前審査(PQ)の結果、13グループが入札への参加資格を取得し、うち7グループが9月28日に入札への参加を表明した。

- (1) Bouygues-Bymaro-Saipem-Dredging
- (2) Acciona-GLF-IPC
- (3) STFA-SGTM-Jan de Nul
- (4) Archirodon-Daewoo
- (5) Somagec GE-Somagec SA-Boskalis
- (6) Samsung-C&T
- (7) China Harbour Engineering Company

本案件には、欧州復興開発銀行が2億ユーロを融資する他、アラブ社会開発基金(1.7億ユーロ)、ハッサン2世基金(10億DH)などの機関が出資する。建設は2016年までに開始予定で、第一区画の竣工は2019年末を目指す。2015年末には落札者が明らかとなる予定。

②高速鉄道車両の到着⁶

7日、タンジェ港にタンジェーカサブランカ間高速鉄道(LGV)計画で使用される2台目のTGV車両が到着した。7月に到着した1台目と同様、フランス・アルストム社により製造され、12両編成。2016年末には後続の車両も到着予定。建設工事の進捗は順調で、商業運転前の試運転は2017年に行われる予定。

3. 農業・漁業

①砂糖輸出⁷

モロッコ砂糖会社(Cosmar 社、砂糖製造部門を独占)の発表によると、2015年7月までの砂糖輸出量は7.2万トンとなった(2014年は2500トン)。砂糖大根の豊作、原油価格下落により上半期の売り上げが前年比9%増の33億DHとなった(砂糖精製プロセスで最もコストがかかるのは燃料購入費)。純利益は前年比38.8%増の4億DH。

⁵ ル・マタンエコ紙, Proces verbal(9月18日, 28日)

⁶ ル・マタンエコ紙, Les ECO 紙, エコノミスト紙(9月7日, 9月29日)

⁷ ル・マタンエコ紙(9月29日)

4. 産業

①Auto Hall社の上半期業績⁸

Auto Hall社(自動車販売代理店)は、2015年上半期の売り上げを前年同期比22%増の19.9億DHと発表した。純利益も前年同期比7%増の1.18億DHとなった。同社全体売上げのうち、30%は軽量商用車(昨年は23.5%)、乗用車は14%(昨年は9%)、工業用車は42%(昨年は43%)、農業トラクターは18%(昨年は19%)となった。

②モロッコ航空産業フリーゾーン⁹

モロッコ為替局は一時期停滞していた航空産業に回復がみられると発表した。輸出が順調に成長しており、7月末までの輸出額は前年の18億DHより大幅増加し、48億DHとなった。輸出品は翼、機体、エンジン等の一部で895トンの部品がモロッコで製造されている(前年同期768トン)。カサブランカの航空産業フリーゾーン MidParc は、2016年末までに土地使用率50%を達成する計画。

③SNTL公社がデカトロン社の商品搬送を落札¹⁰

モロッコ運輸・物流公社(SNTL)は、デカトロン社(仏・スポーツ用品)が実施した商品搬送の外注に関する国際入札を落札した。SNTL社の発表によると、デカトロン社が世界各地で製造している商品をタンジェ港に運搬し、そこからロシア、トルコ、西アフリカ、中央アフリカに向けて輸出する。SNTL社は「モロッコが運輸のハブ拠点になるよう貢献したい」と述べた。なお、SNTL社はルノー、サムソン、ファゴール、BIMの商品の運送も扱っている。

④Kromberg & Schubert社のワイヤーハーネス製造工場設置¹¹

2日、Kromberg & Schubert社(Kroschu 社(独、ワイヤーハーネス製造))はケニトラのアトランティック・フリーゾーンに Volkswagen 車用のワイヤーハーネス工場を設置すると発表。投資額は2.6億DHで、2,200人の雇用創出が見込まれている。

⑤Conti Tech Conveyor Belt 社の工場設置計画¹²

Conti Tech Conveyor Belt Group(コンチネンタル社(独)子会社)は、ジョルフ・ラスファールの産業ゾーンにコンベアー用ベルトの生産工場を建設すると発表した。一年程前に結ばれた王立リン鉱石公社(OCP)との戦略的合意を実行するもの。今年末までに資材を搬入し、2016年上半期に

⁸ エコノミスト紙(9月17日)

⁹ エコノミスト紙(9月11日)

¹⁰ エコノミスト紙(9月16日)

¹¹ エコノミスト紙(9月7日)

¹² エコノミスト紙(9月4日)

は生産開始する予定。幅1.6mのベルトを年間180km分生産する計画で120人の雇用創出が見込まれている。同社による北アフリカ初の生産工場となり、当初販売は現地市場をターゲットとする。

⑥モロッコにおける Holcim 社と Lafarge 社の合併¹³

18日、Holcim Maroc 社(セメント製造)の Rachid SEFFAR CEO は、同社2015年上半期の業績報告会の席で、国際的には今年7月末に締結された Holcim 社と Lafarge 社の合併は、モロッコでは発効しておらず、合併方針について本社レベルで協議中であると述べた。モロッコでの Lafarge-Holcim 合併下での事業開始は今年12月中旬～来年1月中旬頃となりそうだが、具体的な日程は決定されていないとのこと。

Holcim Maroc 社の2015年上半期の売上は前年同期比9%減の106億DH、純利益は2.4億DH(前年同期は3.2億DH)にとどまった。モロッコの建設業界は不況で、2015年上半期の国内全体でのセメント消費量は前年同期比1.3%減少し、同社もこの影響を受けた。

⑦IKEA販売店のオープニング延期¹⁴

29日に予定されていたカサブランカ近郊、モハメディアにおけるIKEA販売店のオープニングは、正式な許可が下りていないため延期になったとモロッコ内務省が発表した。現地メディアは、スウェーデン政府が、モロッコが領有権を主張している西サハラにおけるポリサリオ国家を承認するという計画が影響していると報道している。同販売店は、2万6000m²の敷地を有し、Al-Futtaim Group(ア首連)、マルジャン(モロッコ)、Sonae Sierra(ポルトガル)の合弁により建設された。

5. エネルギー・電気・水

①LNG開発国家計画に関するロシア出張団のモロッコ訪問¹⁵

8-11日、LNG開発国家計画に関連して、ロシアの Yury Senturine エネルギー副大臣を団長とし、Gazprom 社、Novatek 社、Rosneft 社等の参加者を含む企業代表団がモロッコを訪問した。同訪問は、同計画に関するアマラ大臣による訪米に数週間先立つ形となった。モロッコは2025年までに5bcmの液化天然ガスを調達する計画で、2015年末までに調達先を確保したい考え。このためアマラ大臣は今年4月にロシアを訪れていた。今回のロシア企業代表団によるモロッコ訪問は、天然ガスの供給だけでなく、LNG関連インフラ建設への同国の関心の高さを示している。欧州の統計によると、Gazprom 社は年間550bcmのガスを生産、ロシア全体でのガス生産量は650bcmで、その三分の二は国内消費され、75bcmは旧ソ連圏に、150bcmはそれ以外(主に欧州)に輸出されている。

¹³ ル・マタン紙、オジュールデュイ紙(9月20日・21日)

¹⁴ ロイターズ他(9月29日)

¹⁵ ル・マタン紙(9月7日)

②LNG開発計画の技術アドバイザー¹⁶

14日、モロッコ電力・水道会社(ONEE)は、LNG国家開発計画「ガスから電力へ」計画(Gas to Power Project)の技術アドバイザー選定の入札を告示した。本入札は「ガスから電力へ」計画策定のための技術支援をONEEに対して行うコンサルタント(技術アドバイザー)を選定するもので、ガス及び発電事業に専門性を有するコンサルタントを対象とする。入札保証金は30万DH。応札締め切りは9月21日の午前10時(モロッコ時間)。同計画は、ONEE事業を規定する法律(第40-9号)に従い、PPPの枠組みで実施される。建設予定のインフラはジョルフ・ラスファールの湾岸整備、LNG貯蔵ターミナル、貯蔵ターミナル・発電所間のパイプライン及び地下貯蔵施設、貯蔵ターミナルとマグレブ・ヨーロッパ・ガスパイプラインを繋ぐ高圧パイプライン、ガスタービン複合サイクル発電(CCGT)。

③850MW風力発電プロジェクト落札者発表延期¹⁷

5日、電力・水道公社(ONEE)は、今年9月に予定されていた850MW風力発電(5カ所に計850MW分の風力発電施設を設置する計画)の落札者の発表日を予定より延期し、10月30日になると発表した。なお、事前審査(PQ)を通過したコンソーシアムは5社。

④太陽光発電案件(Noor-Tafilalt)事前審査開始¹⁸

19日、電力・水道公社(ONEE)は、太陽光発電所建設案件(Noor-Tafilalt:アルフード・ミッスール・ザゴラの3カ所に合計75MW~100MWの発電所を建設、総事業費13億DH)の事前審査(PQ)に、19カ国、49企業が応募書類を提出したと発表。本案件には、国際復興開発銀行(BIRD)が12.7億DH(うち、クリーンテクノロジー基金(FTP)分が2.36億DH)の借款を供与する。モロッコ南部と南東部における電力供給を安定化させることが目的で2016年末に稼働開始予定。ONEEは本件を含めて計400MW分の太陽光発電所を建設する計画。

6. その他

①モロッコのビール醸造業¹⁹

CFGグループ(Casablanca Finance Group)のアナリストによると、モロッコのビール醸造業の業績は改善し、関連株価の上昇が見込まれている。2015年はラマダンがバカンス時期から外れたため、この時期のビール販売が大幅に伸びると予想。2015年上半期のビール売上は前年同期比9%減少したが、下半期は11.8%増加し、通年で2.5%増(23億DH)になるとの見通し。純利益は前年比12%増の2.77億DHに達するとした。また、安定した税制を同業界にとってのプラス要因に挙げた。

¹⁶ エコノミスト紙(9月15日)

¹⁷ ONEEコミュニケ(9月28日)

¹⁸ ル・マタン紙、メディア24(9月22日)

¹⁹ レ・ゼコ紙(9月27日)

②陶器のアンチダンピング調査の要請²⁰

2日、モロッコの窯業協会 (Association Professionnelle des Industries Ceramiques(APIC))は、貿易局に対して、輸入陶器のアンチダンピングの調査開始に関する要請を提出した。同協会は特にスペインとイタリアからの輸入品を問題視している。欧州で行われた調査によると、両国での陶器1㎡あたりの生産コストは最低でも3.5ユーロであるが、これらの国からの輸入品のモロッコにおける平均市場価格は36DHにすぎず、モロッコ国内製品の平均価格である48DHよりも安いと指摘。また、モロッコでは2003年以降、陶器の品質基準を導入したが、外国製品はこれを満たしていないとした。

③BMCE銀行子会社のアフリカ進出²¹

BMCE銀行の子会社である Bank of Africa はルワンダでの活動許可をルワンダ中央銀行より取得した。ルワンダで銀行業の免許を持つマイクロファイナンス機関を買収する。モロッコ中央銀行からも認可を受けた。BMCE銀行は、他のアフリカ諸国18ヵ国でも活動しており、マリ開発銀行(株式32.38%)やコンゴ銀行(株式25%)等に資本参加している。なお、2015年末にはカメルーンでもビジネスを開始予定で、ナイジェリア、アンゴラ、モザンビークへの投資も検討している。

④BIM社の業績²²

安価なスーパーとして2009年よりモロッコで活動を開始しているBIM社(トルコ・物流)の業績が好調。2013年の同社の売上げは9億DHとなった(前年同期8700万DH)。広告費削減、人員削減(1店舗5人)、店舗を簡素なデザインにすることで商品の価格を削減。また、BIM社独自ブランドで商品を販売し、60ー80%の商品をモロッコで製造している。現在モロッコに270店舗あり、2019年までに600店舗開店予定。なお、モロッコでの経営知識を生かし、アフリカ諸国に進出する予定。

⑤SNIの取締役会²³

28日、王室系投資会社(SNI)は取締役会を開催し、4つの委員会(戦略委員会、任命・報償委員会、監査委員会、CSR(企業の社会的責任)委員会)を立ち上げた。昨年9月に就任した Hassan Ouriagli 社長によるSNI運営の方向性が確認された形となった。また、SNIはCSR活動を強化する方針で、その活動計画が承認された。非営利組織 Injaz Al-Maghrib がCSR活動の案件をSNIに提供する。2014年のSNIのグループ全体での売り上げは338億DH、グループ純利益

²⁰ ル・マタン紙(9月27日)

²¹ ル・マタンエコ紙(9月30日)

²² ル・マタンエコ紙(9月1日)

²³ エコノミスト紙(9月29日)

は35億DHでそれぞれ前年比18.6%と42.3%の減。ただし、2015年上半期の業績は改善傾向にある。

II. 諸外国等との関係

1. 経済協力

①アフリカ開発銀行・Attijariwafa 銀行協力合意²⁴

アフリカ開発銀行(BAD)とAttijariwafa 銀行は合同で、サブサハラアフリカの小規模及び零細企業に資金調達の知識と経験を伝達する支援を行うことに合意。両銀行は2014年末に協力合意を締結し、Attijariwafa 銀行は、アフリカ開発銀行より7300万ユーロの融資を受けた。

②ブラジル議会代表团、モロッコ訪問²⁵

22日、ブラジルの議会代表团は、アマラ エネルギー・鉱山・水利・環境大臣を訪問し、エネルギー・鉱物・水利・環境に関する二国間協力の可能性について話し合った。アマラ大臣は「モロッコにとってブラジル市場は非常に重要」と発言し、ブラジル議会代表者は「ブラジルは低価格の天然ガスで知られており、モロッコにこれまでの知見を共有していきたい」と発言した。

③欧州投資銀行による資金協力²⁶

28日、欧州投資銀行(BEI)とモロッコ電力水道公社(ONEE)は、飲料水供給促進計画への7500万ユーロの借款契約を締結した。ONEEは2013年—2017年の間に合計73億DHを投じて水道施設化改善のためのプロジェクトを実施予定。そのうち、1.5億ユーロの予算で飲料水供給状況の改善、設備の衛生化、効率性向上のためのプロジェクトを実施予定。

2. その他

①フランスとモロッコの投資・貿易関係²⁷

2014年のフランスによるモロッコへの投資額は86億DHであった(前年比25.4%減)。湾岸諸国からの投資増加により、フランスからの海外直接投資額は2000年以降減少傾向にある。2014年のモロッコの全輸入額に占めるフランスの割合は13.3%で、2008年から2013年の平均より4.9%減少した。特に、運輸機材(16.9%減)や産業・農業機器、各種機械(14.7%減)が減少。なお、2014年のモロッコからフランスへの輸出額は、運輸機材の増加(24.3%増)の影響で、前年同期より9%増化している。在モロッコフランス企業数は750社。

②モロッコ王国投資セミナー開催²⁸

²⁴ ル・マタンエコ紙(9月12・13日)

²⁵ ル・マタン紙(9月23日)

²⁶ ル・マタン紙(9月28日)

²⁷ エコノミスト紙(9月18日)

18日、東京にて、モロッコ王国 商工業・投資・デジタル経済省、在日本モロッコ王国大使館、モロッコ投資庁(AMDI)、日本貿易振興機構(ジェトロ)の共催により、モロッコ王国投資セミナーが開催された。代表団は本訪問を機に、日本の省庁や企業を訪問し、モロッコの投資環境を説明すると共に、情報交換を行った。

Ⅲ. 今月のモロッコひとくちメモ

モロッコ基礎情報（2014年）		
国家予算	3672億DH（約4兆4千億円）	モロッコ（経済財政省）
GDP	1070億ドル（約1兆550億DH, 約13兆円） ²⁹	（世銀）
GNI	2980ドル	（世銀）
一人あたりGDP	3316ドル	（IMF）
経済成長率	4.4%	モロッコ（中銀）
単年度財政赤字	GDP比5.5%	モロッコ（中銀）
経常赤字	GDP比7.6%	モロッコ（中銀）
失業率	9.2%	モロッコ（中銀）
物価上昇率	1.9%	モロッコ（中銀）
海外直接投資額	365億DH	モロッコ（中銀）

²⁸ ル・マタンエコ紙（9月15日）

²⁹ 1ドル＝9.86DH（現在）。日本のGDPの2%